

平成25年7月20日

東京都スケート連盟フィギュア事業部・強化部

日本スケート連盟より無級から2級までのISUジャッジングシステムのウェルバランスのガイドラインが示されたことを受けて、東京都スケート連盟では、初級から2級までの競技について以下のウェルバランスで競技を実施致します。

初級ウェルバランス 演技時間:1分±10秒 転倒: -0.2

採点プログラムコンポーネンツ: スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

ワルツジャンプの実施の可否: 可

ジャンプ要素: 最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを1回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。同じ種類のジャンプは2個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

***ダブルジャンプは禁止とする。**

スピン要素: 最大1つまで

1ポジションのスピン(足換えとフライングは可能・最少5回転)

ただし、レベルBで評価する。

1級ウェルバランス 演技時間:1分±10秒 転倒: -0.2

採点プログラムコンポーネンツ: スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

ワルツジャンプの実施の可否: 可

ジャンプ要素: 最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを1回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。同じ種類のジャンプは2個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

***ダブルジャンプは禁止とする。**

スピン要素: 最大1つまで

1ポジションのスピン(足換えとフライングは可能・最少5回転)

ただし、レベルBで評価する。

ステップシークエンス: 最大1つまで ただし、レベルBで評価する。

2級ウェルバランス 演技時間:2分±10秒 転倒: -0.2

採点プログラムコンポーネンツ: スケーティングスキル・パフォーマンス・インタープリテーション

ワルツジャンプの実施の可否: **不可**

ジャンプ要素: 最大4つまで

うちジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーション又はシークエンスを2回含むことができる。

1. 第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。

2. 第二ジャンプは異なる2種類であること。

* 1つはアクセル型ジャンプでなくてはならない。(ワルツジャンプもアクセル型です。)

* 同じ種類のジャンプは2個まで。(回転数が異なっても同じ種類とする)

スピン要素:最大2つまで

1つは1ポジションのスピン(足換えとフライングは可能・最少5回転)

ただし、レベルB まで評価する。

1つはコンビネーションスピン(足換え自由)ただし、レベルB まで評価する。

ステップシーケンス:最大1つまで ただし、レベルBで評価する。

初級、1級、2級におけるISUジャッジングシステム・ウェルバランス Q&A

ジャンプについて

Q1「禁止とされているジャンプを行った場合はどうなりますか？」

A1「禁止のものは、余分な要素となり、無価値の要素になります。認められた範囲で、より質の良いジャンプを行うように努めてください。」

Q2「ワルツジャンプを実施した場合、点数はありますか？」

A2「初級と1級はあります。」

Q3「初級と1級において、前向き踏切の半回転ジャンプが合った場合、どうなりますか？」

A3「ワルツジャンプを認めている以上、ワルツジャンプを行ったものとして認定される場合があります。最終的に、ジャンプの要素数が規定より多い場合、5つ目以降の他のジャンプが余分な要素とされて無価値になりますので、今大会においてはワルツジャンプに似た半回転ジャンプは行わないことに対応をお願いします。」

Q4「コンビネーションジャンプにおいて、3連続ジャンプは可能ですか？」

A4「今大会は不可です」

Q5「同じ種類のジャンプは2個まで、というのは2NDジャンプも含まれますか？」

A5「含まれます。1STでも2NDでも同じ種類は2回までです。種類とは回転数に関係なく、A・S・T・Lo・F・Lzの6つのことです。同じ種類のジャンプが3つある場合には、3つ目のジャンプが余分な要素となり無価値となります。(3つ目がコンビネーションやシーケンスの一部にある場合は、この要素自体が無価値となります。)」

スピンについて

Q1「1つは1ポジションのスピン(最少5回転以上)」とはどういう意味ですか？

A1「基本姿勢が2回転以上ある場合はレベルBとして判定されますが、基本姿勢が5回転未満の場合は必須回転数に満たないものとしてGOEでマイナス評価されます。(スピンにおける基本姿勢の習得)」

ステップについて

Q1「難しいターンやステップを入れる必要はありますか？」

A1「ターンやステップ、動き、曲との調和など、選手の実力を十分にアピールするポイントとして有効に活用されることを期待しております。プラス評価されるように努めてください。」

*** その他**

本大会での初級～2級ウェルバランスはスケートの基本習得を目的としております。

レベルにばかりとらわれることなく、スケート本来の技術、出来栄え、曲との調和を審査するためのウェルバランスとなっております。良い評価を得る演技を期待しております。

また、ウェルバランスに関する問合せは受け付けておりません。(問合せは大会運営用) 予めご了承ください。